

日本E U学会
第28回(2007年度)研究大会

共通論題「ローマ条約50年—到達点と展望」

2007年11月24日(土), 25日(日)

会場： 神戸大学

日本 EU 学会第 28 回(2007 年度)研究大会のご案内

日本 EU 学会第 28 回(2007 年度)研究大会を下記の通り開催いたします。ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

2007 年 9 月 吉日 日本 EU 学会理事長 庄司 克宏

日時： 2007 年 11 月 24 日(土), 25 日(日)

会場： 神戸大学法学部(六甲台地区第 2 学舎)(<http://www.law.kobe-u.ac.jp/map.htm>)

住所：〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1 電話番号：078-803-6812

交通機関：

(徒歩)阪急「六甲」駅から約 25 分

(バス)

阪神「御影」駅、JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅から神戸市バス 36 系統鶴甲団地行、鶴甲 2 丁目止まり行き乗車「神大正門前」下車

(タクシー)

阪神「御影」駅より約 15～20 分

JR「六甲道」駅より約 10～15 分

阪急「六甲」駅より約 5～10 分

帰路のタクシー：阪急タクシー(078-881-2361)

個人タクシー協会(078-651-2233)

兵庫無線タクシー(078-882-3311)

第1日(11月24日)

開場(受付開始) 12時

* 理事会は11時に開催します。

共通論題「ローマ条約50年—到達点と展望」

全体セッション第1部(13時—15時)

報告時間30分、質疑15分

基調報告のみ報告30分(質疑なし)

報告者	論題	司会者
(1) 田中素香 (中央大学)	基調報告ローマ条約50年 —経済統合の回顧と展望	辰巳浅嗣 (阪南大学)
(2) 円居総一 (日本大学)	世界経済の構造変化とEU統合 —世界経済の構造変化の中でのEU統合の意義と広域共同体形成への政策示唆—	
(3) 臼井美穂子 (駒沢女子大学)	欧州軍備協力の50年 —条約第296条をめぐって	
休憩(15分)		
全体セッション第2部(15時15分—17時40分) 報告時間30分、質疑15分 外国人ゲストスピーカーの講演は45分、質疑15分 駐日欧州委員会代表部の講演は30分、質疑10分		
報告者	論題	司会者
(1) 横井眞美子 (ロンドン大学教授・金融庁研究官)	EU金融・証券市場統合とガバナンス	田中俊郎 (慶應義塾大学)

(2) Prof. Bartolini (欧州大学院大学)	未定	
(3) Stefan Alois Huber (駐日欧州委員会代 表部 副代表)	The Driving Forces of Integration: An Analysis of The Past 50 Years and A Projection Into The Future(tentative)	
総会(17時40分—17時50分)		
懇親会(18時—20時)		

第2日目(11月25日)

開場(受付開始)9時30分

分科会(10時—12時:各報告時間20分、質疑15分)		
区分	報告者・論題	司会者
A	須山延洋(神戸大学 院) ヨーロッパ産業の地域特化と集中	棚池康信 (近畿大学)
	小西幸夫(甲南大学)・高屋定美(関西大学) EU 高等教育政策の経済効果とガバナンスにおける課題	
	吉野良子(創価大学) ユニオンの構築とヨーロッパ・アイデンティティの創造 —「ヨーロッパ統合」運動に内在するナショナリズムと の 連続性	
B	大賀哲(神戸大学) 二つの地域統合ガバナンスの共振 —「開かれた地域主義」と「ネットワーク・ヨーロッパ」 —	渡邊啓貴 (東京外国語 大学)
	鈴木均(慶應義塾大学 院) ユーラトム、ドイツ再軍備とドイツ労働総同盟(DGB) 1950—1960年	

	黒田友哉(慶應義塾大学 院) ユーラトム交渉をめぐるフランス外交 —海外領土の加入問題を中心に—	
C	中坂恵美子(広島大学) EUにおける移民および庇護政策の展開と現時点	須網隆夫 (早稲田大 学)
	東史彦(慶應義塾大学 院) ガットに関する欧州司法裁判所およびイタリア裁判所 の 判例法の比較検討	
	浅野康子(筑波大学 院) 「公共」サービスへの自由化拡大はなぜ起こったか	
昼食・休憩／理事会(12時—13時)		
総会(13時—13時15分)		
全体セッション(13時15分—16時) 各報告時間25分、質疑15分		
報告者	論題	司会者
(1) 星野郁 (立命館大学)	経済・通貨統合と拡大に伴うヨーロッパ の 労使関係の変容	福田耕治 (早稲田大学)
(2) 戸沢英典 (東北大学)	EU のジェンダーにかかわる域内政策と 域外政策について—「規制帝国」の視点 から—	
(3) 児玉昌己 (久留米大学)	EU の北朝鮮政策 —EU 外交の可能性と限界—	
(4) ライテラー大使 (スイス駐在)	The EU and Third Countries: From Cooperation to Diplomacy(tentative)	

〔注意点〕 以下の点につき、報告者を含めてご注意ください。

1. 出欠のご返事は、10月20日(土)必着にてお願い申し上げます。
2. 各会場等の場所に関する詳細は、当日お知らせいたします。
3. 報告担当者は、すでにご通知のとおり、11月12日(月)必着にてレジюме原稿(A4 サイズ)を開催校 神戸大学大学院経済学研究科 久保広正宛にできる限り郵送でお送り下さい(住所 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1 神戸大学大学院経済学研究科 久保広正教授)。なお、封筒の表に「EU学会大会報告レジюме在中」と朱書きをお願い致します。やむを得ず E-メールをご利用される方はワード添付ファイルにてお願い致します (kubo@econ.kobe-u.ac.jp)。期日までにお送りいただけない場合には、報告当日報告者自身に200部(分科会報告者は70部)ご持参頂くことになっています。
4. 報告のフル・ペーパーを研究大会の10日前より当学会ホームページ (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/eusa-japan/index.html>)に掲載し、会員がダウンロードできるように致します。報告者は、ご報告のフル・ペーパーを11月10日(土)必着にて事務局メール・アドレス (ywashie@mail.doshisha.ac.jp)、編集委員長メール・アドレス (kokubo@u-shizuoka-ken.ac.jp)及び司会者(大会プログラムで確認の上、会員名簿でメール・アドレス参照)にまで添付ファイルにてご送付下さい。なお、期限内にフル・ペーパーの提出がない場合、年報への論文掲載のための査読の対象となりません(年報掲載資格を失うこととなります)のであらかじめご了承ください。また、編集委員長には執筆要領に沿って必要なものを郵送して下さい。
5. 第1日目の研究発表終了後、懇親会を開きますので、ふるってご参加下さい。会費は、5,000円です。場所は、当日ご案内申し上げます。
6. 第2日目の昼食は、開催校でお弁当(1,000円)をご用意いたします。出欠連絡はがきに要否をご記入下さい(ご記入なき場合はご希望に添いかねます)。